

顔認証システムの老人介護施設への応用

目的:施設に入居している老人が徘徊して外部に出て、事故などにあうことを防ぐ。

顔認証による方式なので、他に所持するもの(カードとか)が不要なので便利である。

概要:

1. カメラ2台で出口を監視し、施設内の入居者が外に出ようとするときにアラームを出す。
2. 施設内の人はカメラで登録する。登録されていないひとを感知するとアラームを出し職員に知らせる。
3. 施設内から歩いている人を同時5人まで検知する。

4. 検知方式:

- (1) 設置カメラ: 高精細カメラ(2MPixel) 2台
- (2) 顔: サイズ: 画面の1/10, 向き: 上下、左右各15° 以内
- (3) 検知時間: 500ms

